



村長と直接意見交換ができます!

## 第31回「村長とのふれあいトーク」

日時▼12月17日(土) 午後2時～5時  
場所▼イオン東海店(1階・フードコート付近)  
内容▼日常生活や村政に関すること等  
その他▼▽事前申し込みは不要で、当日に先着順で受け付けます。▽当日のやりとりの結果を、村公式ホームページで公表(匿名)します。  
問い合わせ▼広報広聴課秘書広聴担当(☎282-1711 内線1301)

## TOKAI "make a wish" ILLUMINATION2016

今年も、JR東海駅西口にイルミネーションを点灯します。期間中は、短冊に皆さんの夢を書いて飾り付けることもできます。昨年よりさらにバージョンアップしたイルミネーションをぜひご覧ください!  
日時▼12月3日(土)～平成29年2月18日(土)  
時間▼午後5時～午前0時  
その他▼12月3日(土)の午後4時30分から点灯式を行います。  
問い合わせ▼東海村商工会青年部(☎282-3238)



## 君の名は。

## …東海

ふるさと歴史訪  
～歴史を再発見～

昭和30(1955)年3月31日、村松村と石村が合併して「東海村」が誕生しました。しかし、なぜ「東海」という村名になったのでしょうか。東海村のホームページを開いてみると、「東海」の名は、東方に大海原を臨む地勢と、藤田東湖の『正気の歌』の中にある『卓立す東海の浜』を引用し名付けられました」とあります。しかし実は、東海村には合併以前から「東海」と名の付くものがあつたのです。

それは、中学校の名前です。東海中学校の『沿革誌』には、昭和22(1947)年5月3日に「村松村立村松中学校村松小学校に併置発足、引寛氏兼任校長となる。石神村立石神中学校石神小学校に併置発足、黒澤信氏兼任校長となる」とあり、同年10月15日に「村松石神組合立立立中学校設立決定」、翌昭和23(1948)年3月15日に「校名を『村松石神組合立東海中学校』と決定」とあります。同年4月1日には「工事未完成のため従来通り両小学校に分かれたまま東海中学校発足」とあり、統一中



東海中学校旧景(昭和30年9月)

学校となったのは「第一期工事成り、両校より移転授業開始」となった、同年の9月15日でした。これは、東海村が誕生する7年前のことです。

では、その当時、なぜ中学校の名前が「東海」になったのでしょうか。それには、日本の敗戦と大きな関わりがあると考えられます。

幕末の混乱期、水戸学者の藤田東湖は中国南宋の忠臣・文天祥に思いを馳せ、「文天祥の正気歌に和す」と題する詩を作り、この中で社会に対する正しい道(正気)を説きました。この詩は尊王の志士を鼓舞するだけにとどまらず、明治、大正、昭和初期と、広く愛唱されました。その中の「秀でて立つ東海の浜」のくだりから村名を名付けたことには、「敗戦から立ち直り、ふるさとを復興させる、志のある若者を育てていきたい」という当時の人々の、新制中学校に対する希望と願いが込められているような気がします。

「東海」村の名には、未来を切り拓く、一人ひとりの願いが込められているのです。

東海村文化財保護審議会委員

寺嶋 弘文

ぜひご利用ください!



村公式アプリ  
「こちら東海村」



村公式子育て応援アプリ  
「のびのび子育て帳」



村公式フェイスブック  
「東海村ご当地レポーター」



村公式ツイッター  
「東海村」

